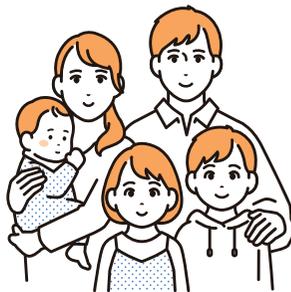
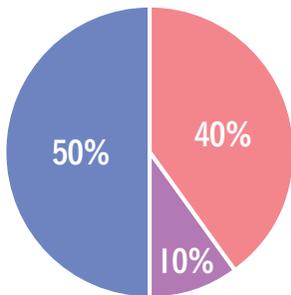


「令和4年度山形県シニア層ボランティア受け入れに関する意識調査」よりご報告

シニア層ボランティアに関する調査にご協力いただきありがとうございました。
県内114か所の子育て支援団体等へ郵送し、70団体より返答がありましたのでご報告いたします。

シニア層ボランティア受け入れの経験の有無 (n=70)

- 現在受け入れている
- 受け入れたことがあるが現在受け入っていない
- 受け入れたことがない



ボランティアを現在受け入っていない、受け入れたことがない理由

- 受け入れをしたことがない 60.5%
- 人手が足りている 39.5%
- コロナ禍のため 39.5% (複数回答)

ボランティアにお願いした活動内容

- 子どもと遊ぶ 62.9%
- 親子との関わり 42.9%
- 絵本の読み聞かせ 37.1% (複数回答)

ボランティアを受け入れてみての感想

- 子どもが喜んだ 71.4%
- 人手が増え助かった 62.9%
- 多世代交流ができた 51.4% (複数回答)

令和4年9月にシニア層の方を対象とした「^{たまご}やまがた他孫育て講座」を開催しました。

いろんな活動のサポートがあるので地域で何かやってみたい

私達も応援したい!

ママさんパパさんに安心して子育てしてもらいたい

みんながすすくと子どもを育てられるようなお手伝いをしたい



退職した今、今度は私が何か手伝えれば

自分たちで家庭を作り子育てをしたいという願いを応援したい

【受講者アンケートの感想より】

特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド

〒990-0042 山形市七日町1-1-1

TEL 023-673-9336 FAX 023-673-9337

MAIL info@ikuji-land.jp URL http://ikuji-land.jp



このリーフレットは、山形県委託事業 令和4年度やまがた他孫育て支援事業の一環として、子育て支援に関わっているシニア世代のボランティアさんについてご紹介するものです。



庄内 NPO法人明日のたね

代表理事 丹治 亜香音 氏

安 心して子育てができる暮らしやすい社会づくりに寄与するため、鶴岡市長沼で地域子育て支援拠点を運営。「こども大学(楽)」や「森のがっこう」、「お風呂託児事業」など、交流・相談の場の提供や、体験学習型の事業等を実施しています。地域の拠点として役立てることはないか。地域に受け入れてもらうために間口を広く、常に自分たちがオープンであることを心掛けています。親子だけでなく、お孫さんを見ているおばあちゃん世代も一息つける居場所となっています。シニア世代の「人の役に立ちたい、何かできることはないか」という思いと、若い世代の「何をどう聞いたらいいかわからない」という気持ちをくみ、世代間の橋渡しをしています。ボランティアさんというより仲間。毎週月曜日に体操をしている「いきいきサロン」の参加者など、自分たちがしたいことを理解し、一緒に楽しんでくれる人に声をかけて事業や活動をつくっています。願う時は、「してほしいところを明確に。」そして、人それぞれが違うことを受け入れ、認め合うことを大切にしています。親子にとって、無条件に子どもたちを可愛がってくれる人がいることは大きな安心感につながります。親子にとって暮らしやすい地域は、誰にとっても、どんな人でも暮らしやすい地域です。「お互いさまとおかげさま」を大切に一緒に活動してくれる方を受け入れています。



置賜 NPO法人やまがた育児サークルランド

ホームスタート・おきたま オーガナイザー 土屋 清美 氏



長 井市子育て支援センター「子育てでつながる家いろは」を運営。ボランティアによる訪問型子育て支援「ホームスタート」を実施しています。

ホームスタートは、研修を受けたボランティアさんが、ご家庭に訪問し、お友達のようにママの育児や家事をお手伝いする支援です。ホームスタートの利用者が支援センターに来たり、支援センターの来館からホームスタートの利用につながることもあり、拠点運営と訪問型支援は両輪として必要な支援だと感じています。

ひろばなどでのボランティア活動と違い、ホームスタートのボランティア活動は一人での訪問し、子どもと遊んだり、母親の話を聞いたりします。親子との距離が近くやりがいがある反面、一人での活動のため、これで良かったのかという不安を感じやすいところがあります。そのため、活動前には8日間という長い期間の研修を受けていただくことが必要になってきます。調整役が母親のニーズを確認し訪問をコーディネートしますが、ホームスタートはボランティアさんが主軸となる活動です。少しハードルが高いボランティア活動ですが、親子を支えたい！ママを応援したい！というボランティアさんの温かな気持ちが地域の親子に届き、ボランティアさん自身もやりがいのある活動となるようサポートしています。

山形県内

には、

ボランティアさんと一緒に様々な活動をしている団体があります！
それぞれの地域よりご紹介いたします！

最上 新庄市読み聞かせ連絡協議会

会長 佐藤 成美 氏 副会長 東谷 恵子 氏 京野 雅子 氏

新 庄市で読み聞かせをしているボランティアサークル14団体と市立図書館、教育委員会とが市民連携協働している連絡協議会です。市内の乳幼児施設や小・中学校、義務教育学校、図書館等で活動し、読書環境の推進を図っています。

協議会の仲間として、他の人の読み聞かせを聞いたり、一緒に研修を受けたり、スキルアップを図り刺激を受けながら活動をしています。コロナ禍にあってもオンラインでの読み聞かせをするなど、工夫を共有しながら続けました。何より子どもたちの笑顔がパワーの源。継続して読み聞かせをしていると、中学生でも、表情には出さないけれど素直でステキな感想を言ってくれます。つながりを持った関わりができることが嬉しいです。親でも先生でもない、近所のおばちゃんには、子どもたちも身構えずに気持ちを出せるのかもしれない。

仲間を増やすために、私達が今やっている活動を一緒にお手伝いしてもらえませんか？と声がけしています。「無理なく、楽しく、できる時にできる人ができることをする」生き生きと活動している大人の姿を見てもらうことで、地域の未来を担ってくれる子どもたちの成長に関わっています。



村山 NPO法人クリエイティブがしね

事務局長 村山 恵子 氏

子 どもから高齢者まで世代を超えた交流の場をつくり、すべての市民が輝いて暮らせる地域社会の創造をめざしています。また、東根市から委託を受け、「さくらんぼタントクルセンター」と「ひがしねあそびあランド」を運営しています。

ボランティアさんには、遊びに来た親子を笑顔で迎え入れる受付サポートや読み聞かせ、放課後の小学生と一緒に編み物や昔遊びなど、それぞれの特技を生かした活動をしてもらっています。「子どもの笑顔がみたい」「子育て親子の力になりたい」という気持ちのある方々が活動のあとには「私たちの方が逆に元気をもらった」という嬉しい感想を頂戴しています。ボランティア活動という身構える人もいるので、敷居を低く、関心を持って足を運んでもらうことを大事にしています。イベントのような形があった方が活動に入りやすい方もいるので、まずは見学を通して、どんなことを望んでいるのか、どんなことができるのか、その人の想いを組み取りながら、一緒にできる活動を探り提案しています。



また、子育て親子がボランティアさんとの交流によって、あらたな気づきや発見を得られ、成長する機会になっています。スタッフ以外の方々があたたかいまなざしと言葉がけで親子を見守ってくれることは大きな安心感となり、遊び場がとても豊かになります。ちょっとボランティアしてみようかなと気軽に足を運んでくださる方をお待ちしています。